

# 学習課題(中学校2年生)



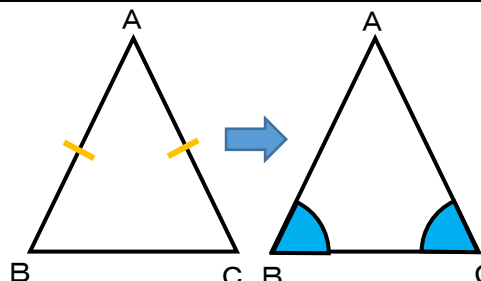
## 【数学】

### <学習内容>

重なってできる三角形の性質について考えよう。(教科書 P152~153)  
 ~2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形と言えるだろうか~

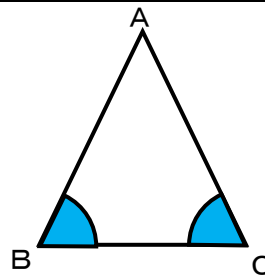
### <取り組み方>

- (1) 右の図の二等辺三角形ABCにおいて、「二等辺三角形の2つの底角は等しい」という性質の仮定と結論を記号を用いて表してみよう。また、その逆について、仮定と結論を記号を用いて表してみよう。

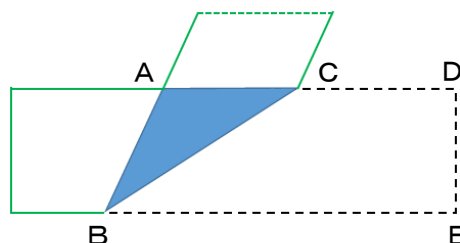


	仮定	結論
二等辺三角形の性質		
その逆		

- (2) 右の図は、2つの角が等しい三角形である。この三角形が二等辺三角形になることを、三角形の合同条件を利用して証明しよう。



- (3) 紙テープを右の図のように折ったとき、重なった部分の三角形はどんな三角形になるか予想してみよう。また、その理由を説明してみよう。



### <学習のヒント>

- (1) 仮定と結論が入れ替わっている2つのことがらがあるとき、一方を他方の逆と言うよ。(教科書 P136)
- (2) 三角形の合同条件を利用するためには、合同と言えそうな2つの三角形を作る必要があるね。どこに補助線を引くとよいかね。  
 補助線は、①∠Aの二等分線を引く方法、②点Aから辺BCへ垂線を引く方法などが考えられるね。
- (3) 紙テープは長方形なので、上の辺と下の辺が平行になっているね。このことから、平行線の性質(教科書 P114)を使うと、等しいと言える角が見つけられるね。また、折り返していることから、ぴったり重なる角があるね。  
 重なってできる三角形の2つの角が等しいことが言えれば、(2)で証明したことがらを根拠として、△ABCが二等辺三角形になることが説明できるね。